テラヘルツ領域における 高精度・高分解能分光



小田島 仁司

Hitoshi Odashima

理工学部 物理学科 レーザー物理研究室

School of Science and Technology, Department of Physics http://www.isc.meiji.ac.jp/~hoda/index.htm

研究目的

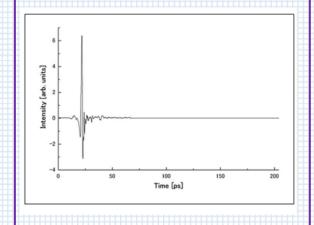
電波と光波の境界に位置し、これまで未開拓であったテラヘルツ領域において、高精度・高分解能のスペクトルを測定できる分光計、分光法を開発する。

研究内容

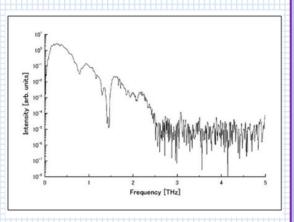
時間領域分光法により高精度・高分解能なスペクトルの測定をテラヘルツ領域において行なう。具体的には、フェムト秒レーザーにより光伝導スイッチを励起し、テラヘルツパルス波を発生させる。これを気体分子、たんぱく質等の高分子、分子性結晶などの試料に照射し、その時間応答信号を観測する。

時間応答信号をフーリエ変換することにより、試料のテラヘルツスペクトルを得る。 得られたスペクトルを解析することにより、分子構造など試料についてのさまざまな知 見を得る。

関連画像



グルコースの時間応答信号



時間応答信号をフーリエ変換すること により得られたグルコースのスペクトル

2014年6月改訂

キーワード

テラヘルツ波、分子分光、THz-TDS、時間領域分光法



●お問合せ先●